

**受検上の配慮にかかる指導者のためのガイダンス・ノート：**

**ケンブリッジ英語検定 スピーキングテスト編**

受検上の配慮が必要な受検者向けケンブリッジ英語検定スピーキングテストについて、以下の資料をご一読いただき、次の事項をご確認ください。

- 配慮対象者向けテストの内容およびその指示について受検者が理解していること
- 受検者が利用可能なサンプルテスト資料を用いて練習していること

詳しい情報とサポートについては、お申込み予定の試験センター、またはヘルプデスク (<https://support.cambridgeenglish.org>) 宛にご連絡ください。

**配慮対象者向けスピーキングテスト**

**受検方法**

配慮対象者向けスピーキングテストの受検には 4 つの方法があります。

- 単独受検者（受検者が 1 人でスピーキングテストを受検します）。  
「A2 Key キー」「A2 Key for Schools キー・フォースクールズ」「B1 Preliminary プレリミナリー」「B1 Preliminary for Schools プレリミナリー・フォースクールズ」「B2 First ファースト」「B2 First for Schools ファースト・フォースクールズ」「C1 Advanced アドバンス」「C2 Proficiency プロフィシエンシー」の試験でこの受検方法が可能です。
- 配慮に関する特別なご要望が同一または同様の受検者とペアを組み受検
- 「ダミーパートナー（代役受検者）」とペアを組み受検
- 配慮を必要としない一般受検者とペアを組み受検（この場合、いずれの受検者も同一の、配慮対象者向けスピーキングテストを受検します）

**単独受検スピーキングテスト**

単独受検者のために特別に用意されたテストです。受検者は 1 人でスピーキングテストを受けますが、（スピーキングテストを採点する）評価者、（受検者に話かける）対話者から成る試験官 2 人が同席します。対話役の試験官はスピーキングテストの一部のパートで 2 人目の受検者の役割をします。

**「ダミーパートナー（代役受検者）」とペアを組むスピーキングテスト**

「ダミーパートナー（代役受検者）」は採点されません。試験センター長は、「ダミーパートナー（代役受検者）」を手配し、ケンブリッジ大学英語検定機構から許可を得る責任を負います。

### 「ダミーパートナー（代役受検者）」の条件

「実際の」受検者が不利にならないよう、「ダミーパートナー（代役受検者）」は次の条件を満たす人に限ります。

- 当該試験に適した**年齢**および**能力レベル**の英語スピーカー
- 当該スピーキングテストのフォーマット（形式）を理解している人

同じセッションで既にスピーキングテストを受検した人でも構いませんが、まだスピーキングテストを受検していない人が「ダミーパートナー（代役受検者）」になることはできません。

## 目のご不自由な受検者の場合

### 目のご不自由な受検者向けのテスト資料とは？

多くのスピーキングテストでは、対話を促すために絵、写真、その他の視覚資料を使います。目のご不自由な受検者向けに、点字版スピーキングテストがあります。受検者が読む点字の文章とテキストに基づいて様々な問題が出題されます。

「B2 First」試験の「Happy at Work」（仕事上の幸福）という問題で使われる点字の文章（「書面プロンプト」）の例を以下に挙げます。

DESCRIPTION 1 A female flight attendant on a plane is serving lunch to a passenger.

説明 1 機内で女性客室乗務員が乗客に昼食を配っています。

DESCRIPTION 2 A chef in a restaurant is surrounded by the dishes he has prepared.

説明 2 レストランのシェフが調理した料理の皿に囲まれています。

DESCRIPTION 3 A man is repairing a washbasin in a bathroom.

説明 3 男性が浴室の洗面台を修理しています。

DESCRIPTION 4 A male hairdresser is cutting somebody's hair.

説明 4 男性美容師がお客さまの髪を切っています。

スピーキングテストの試験官は、点字資材と一緒に使う改変された原稿（「対話用フレーム」）を渡され、試験前に目を通しておくよう求められます。単独受検者とペア型受検者では、原稿が異なります。

点字資材は、「課題 1 (Task 1)」等と明記された別紙で受検者に提供されます。点字プロンプトの印刷版が試験官に渡されます。目のご不自由な受検者とペアを組む受検者（パートナー）の視覚に問題がない場合には、受検者に渡された点字資材の印刷版がこのパートナーに渡されます。

### その他の目のご不自由な受検者の場合

**弱視等、ご病気、その他の原因で目のご不自由な受検者向けのテスト資材とは？**

細かい印刷文字を読むこと、絵や写真に集中することが難しい受検者向けの拡大テスト資材があります。

**拡大テスト資材の種類とは？**

受検者は、**A3 サイズの冊子**に印刷された**拡大視覚的プロンプト**または**拡大墨字プロンプト**から選択できます。

- A3 サイズに拡大した視覚的テスト資材（絵と写真）
- エリアル(Arial)、サイズ 18、太字の書体に拡大した墨字プロンプト

拡大墨字プロンプトの例を以下に挙げます。

## DESCRIPTION 1

**A female flight attendant on a plane is serving lunch to a passenger.**

## DESCRIPTION 2

**A chef in a restaurant is surrounded by the dishes he has prepared.**

## DESCRIPTION 3

**A man is repairing a washbasin in a bathroom.**

## DESCRIPTION 4

### A male hairdresser is cutting somebody's hair.

注：受検者がパートナーとスピーキングテストを受検する場合、いずれの受検者も視覚的あるいは墨字プロンプトのいずれか同じフォーマットを使っていただきます。

#### 耳のご不自由な受検者の場合

耳のご不自由な受検者は「ダミーパートナー（代役受検者）」と共にペアを組んで受検、あるいは単独でスピーキングテストを受けることができます（上記「受検方法」を参照してください）。

補聴器を使えばある程度聞き取れるなどの場合には、聴きとったことを理解し、解答するまでの時間を延長するよう試験官に求めることができます。受検者がテストの一部（あるいは全て）について読唇術を用いる場合には、言われたことを「理解する」時間の延長が必要かもしれません。あらゆるケースで、試験官は思いやりを持って寛大に対応します。

耳のご不自由な受検者を指導する先生は、お申込み予定の試験センターに連絡し、配慮事項の手配についてご相談ください。試験官に次のことをお知らせいただくと助かります。

- 聴力レベルの等級
- 受検者による英語の読唇が可能かどうか

極めて耳のご不自由な受検者は、スピーキングテストの免除を申請できる場合があります。詳細はお申込み予定の試験センターにお問い合わせください。

#### 耳のご不自由な受検者向けのテスト資材について

耳のご不自由な受検者には、通常、標準的な視覚的テスト資材で受検いただいております。

## 発話に困難を伴う受検者の場合

発話に困難を伴う障がいのある受検者に対しては様々な配慮事項があります。スピーキングテスト前日までに許可を受けてください。

発話に困難を伴う障がいが軽度の場合、あるいは時間の制約や緊張などによりそれが悪化する場合には、発話までの時間の延長を試験官に求めることができます。あらゆるケースで、試験官は思いやりを持って寛大に対応します。

発話に困難を伴う重度の障がいにより、パートナーに悪影響を及ぼす可能性がある受検者の場合には、スピーキングテストについて「ダミーパートナー(代役受検者)」との受検、または単独受検を申請することができます。

極めて重度な発話に困難を伴う障がいのある受検者は、スピーキングテストの免除を申請できる場合があります。

詳細は受検を予定されている試験センターにお問い合わせください。

## 発話に困難を伴う受検者向けのテスト資材とは？

発話に困難を伴う受検者は通常、標準的な視覚的テスト資材（イラストや写真等）で受検します。

### 注意事項：

いったん受検上の特別な配慮がなされたら、耳のご不自由な受検者または発話に困難を伴う受検者も他の受検者と**全く同じように採点されます**。耳のご不自由であることや発話に困難を伴う受検者であるために採点が「甘くなる」ことはありません。

## 学習に特異的な困難を示す受検者の場合（例 ディスレクシア<失読症>）

学習に特異的な困難を示す受検者は、次のようなフォーマット（形式）でのスピーキングテストを申し込むことができます。

- 採点されない、ダミー（代役受検者）のパートナーとペアを組み受検
- （必要であれば拡大した）墨字プロンプトを使用する受検
- 単独受検

こうした受検者については、スピーキングテスト時間が延長されます（次の「時間の延長」の項を参照してください）。

## 時間の延長

特別な配慮が必要な受検者に**一定の長さの延長時間**が与えられるわけではありません。テキストを読んで理解する際、口頭での指示を理解する際、発話する際など、スピーキングテストを**通して**、その都度延長時間が与えられます。どれくらいの延長時間を与えるかは、試験官の裁量で決まります。時間を延長しすぎて受検者に過度のプレッシャーを与えないよう注意します。

## よくある質問

**Q. 私の生徒は単独受検か、ペア型受検か、どちらのスピーキングテストを選べば良いでしょうか。**

A. 状況により異なります。何らかのご不自由のある受検者の場合、標準的なペア型受検はメリットよりもデメリットの方が大きくなります。例えば、受検者が読唇術を用いるのであれば、多くの場合、単独でスピーキングテストを受検する方が望ましいでしょう。一人の話者にだけ集中できるからです。一方、言葉がご不自由な受検者や耳のご不自由な受験者の中には、ペアを組んでスピーキングテストを受け、試験まで一緒に練習して来たもう一人の受検者と対話する方を好む受検者もいます。

**Q. 単独受検のスピーキングテストはどれくらい時間がかかりますか。**

A. 単独受検のスピーキングテストにかかる時間は、標準的なスピーキングテストとほぼ同じです。

**Q. スピーキングテストで手話を使うことはできますか。**

A. 試験官、受検者のいずれも、スピーキングテストで手話を用いることは認められていません。手話は概して口頭言語と無関係であり、異なる文法を持つなど、独自の発達過程をたどっているからです。例えば、[英国手話](#)と[米国手話](#)は大きく異なり、互い

に理解できません。

### 配慮対象者向けスピーキングテストの準備に関する先生方へのアドバイス

1. 生徒がサンプル資材で練習し、以下のことに慣れておくようにしてください
  - スピーキングテストのフォーマット（形式）
  - 使用されるテスト資材（墨字あるいは拡大視覚的テスト資材）
2. サンプル資材の墨字版は、点字プリンターで点字に変換できます。あるいは、コンピューターに接続した点字ディスプレイを介して点字で表示することができます。
3. 生徒はまず、口頭でのプロンプトまたは視覚的テスト資材を使い、トピックについてできるだけ話すようにしてください。

現在利用できるサンプル資材は、以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.cambridgeenglish.org/help/special-requirements/>